

# 2019年 市場概況等について

2019年12月30日

証券会員制法人 福岡証券取引所

## 1. 概況

(1) 2019年の日経平均株価(終値)は、米株式相場の急落を受けて大幅に下落して始まり、大発会初日1月4日に2万円割れ19,561.96円の年初来安値をつけたが、米中関係や中国景気の改善への期待から上昇し4月に2万2千円台まで回復した(4/25:22,307.58円)。しかし、米国による中国製品への関税引き上げ実施など米中貿易摩擦が激化かつ長期化する懸念から取引は低調となり、円高加速も重なって5月の10連休以降は2万円から2万1千円台で推移した(8/26:20,261.04円)。9月以降は米中協議進展の期待が広がって世界的な景気減速への警戒感が薄れ、決算発表にて各企業の業績に底打ち感がみられたことも好感され、11月は2万3千円台まで回復した(11/12:23,520.01円)。さらに12月には米主要株価指数が連日最高値を更新したことにも支えられ2万4千円台まで上昇し、17日には年初来高値24,066.12円をつけた。12月30日の日経平均の終値は23,656円62銭(前年末比+3,641円85銭)。

(2) 福証の2019年の売買代金動向をみると、Q-Board市場の一部銘柄の増や単独の新規上場2銘柄(6/4大英産業、9/12PBシステムズ)の寄与もあり、2月・3月・9月は前年同月を大きく上回った。10月以降は、年末にかけて売買は緩やかに持ち直したが、Q-Board市場銘柄の売買が活発であった前年同月を大幅に下回って推移した。

この結果、2019年の売買代金は前年比22.9%減の214.4億円となり、3年ぶりに前年比マイナス(2017年とほぼ同水準)となった。

## 2. 売買状況 (単位未満四捨五入)

### ① 売買高・売買代金

		2018年	2019年	前年比
<b>売買高</b>		23,780千株	<b>18,961千株</b>	<b>-20.3%</b>
一日平均売買高		97千株	<b>79千株</b>	<b>-18.9%</b>
<b>売買代金</b>		27,821百万円	<b>21,444百万円</b>	<b>-22.9%</b>
一日平均売買代金		114百万円	<b>89百万円</b>	<b>-21.6%</b>
売買高	最高	427千株 (01月06日)	<b>786千株</b> <b>(02月22日)</b>	
	最低	22千株 (08月23日)	<b>21千株</b> <b>(07月24日)</b>	
売買代金	最高	719百万円 (10月30日)	<b>964百万円</b> <b>(09月12日)</b>	
	最低	24百万円 (08月10日)	<b>24百万円</b> <b>(07月24日)</b>	
立会日数		245日	<b>241日</b>	

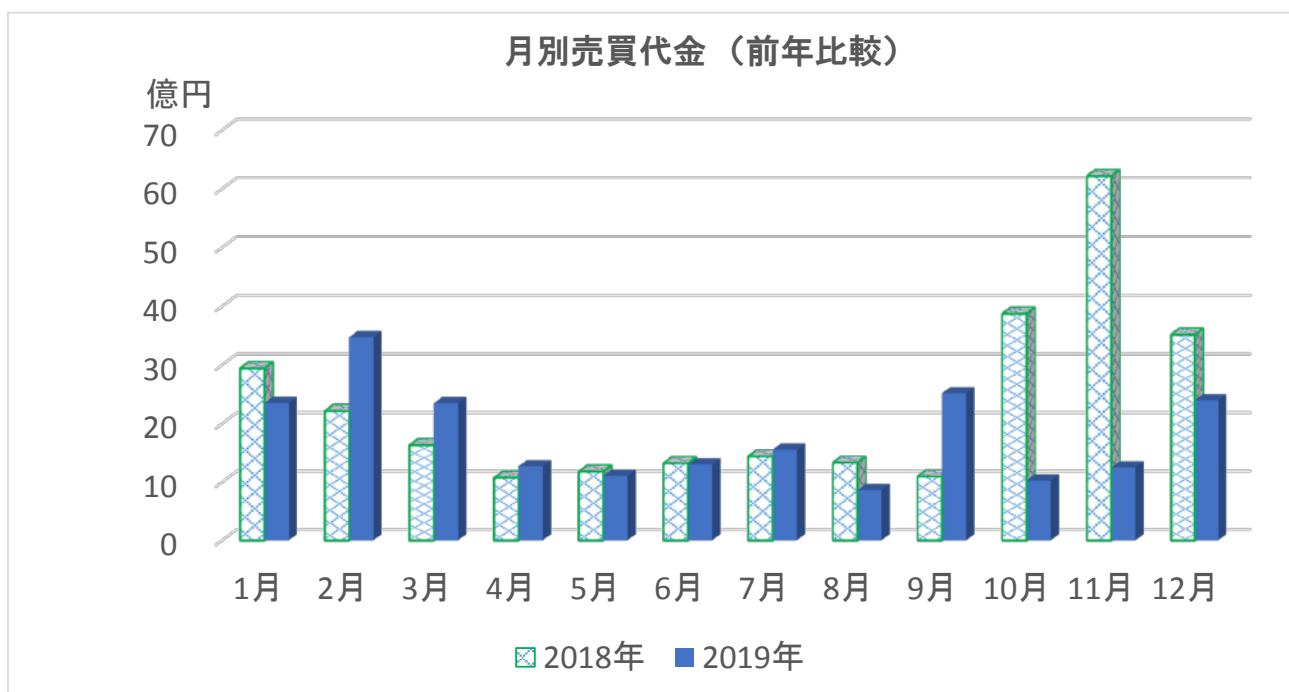
(注) 売買高・売買代金には、REITの取引成立分を除く(以下同じ)。

### ② 市場別内訳

	売買高(千株)			売買代金(百万円)		
	2018年	2019年	前年比	2018年	2019年	前年比
合計	23,780	<b>18,961</b>	<b>-20.3%</b>	27,821	<b>21,444</b>	<b>-22.9%</b>
うち本則	12,825	<b>10,105</b>	<b>-21.2%</b>	15,663	<b>11,179</b>	<b>-28.6%</b>
うちQ-Board	10,955	<b>8,856</b>	<b>-19.2%</b>	12,158	<b>10,265</b>	<b>-15.6%</b>

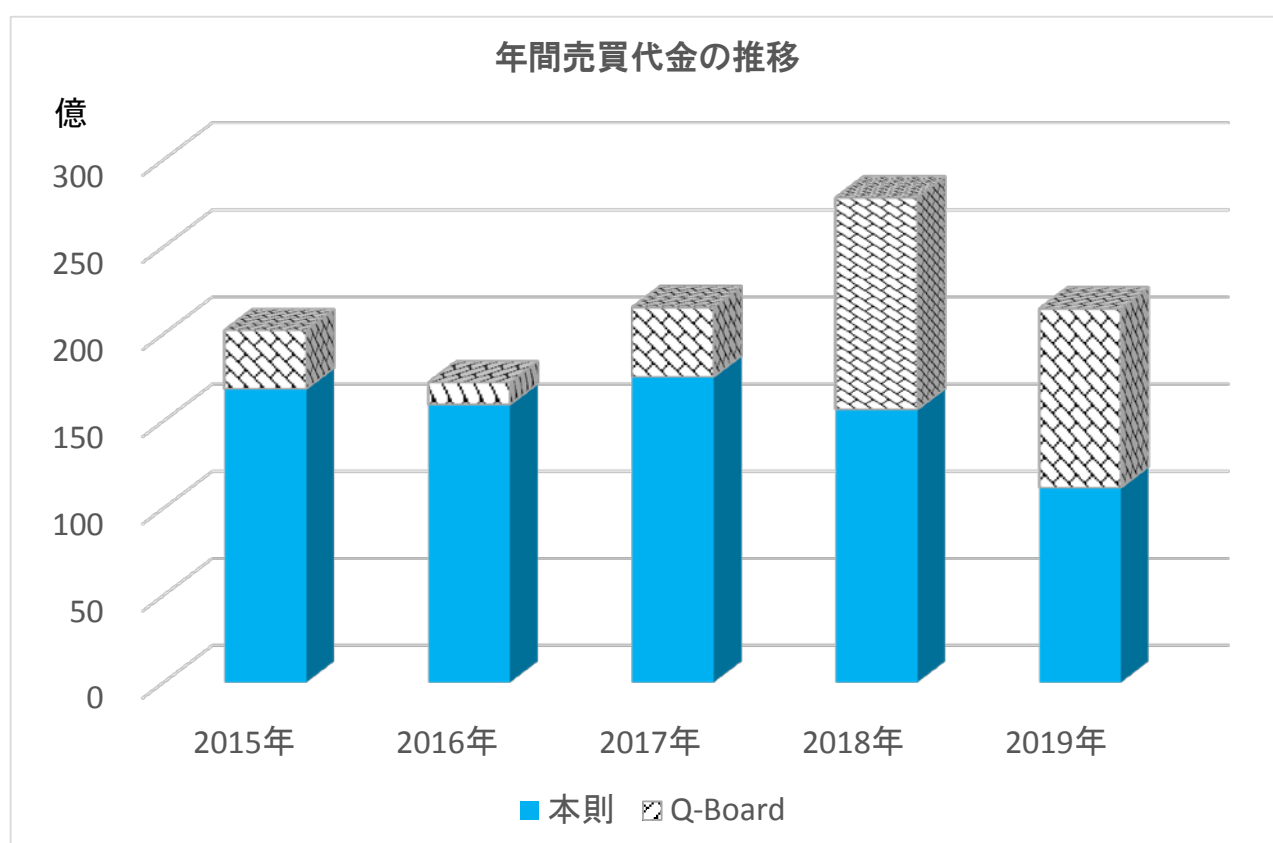
### ③月次売買代金の推移

月	売買代金（百万円）		前年同月比
	2018年	2019年	
1月	2,943	2,350	-20.1%
2月	2,213	3,470	+56.8%
3月	1,631	2,346	+43.9%
4月	1,072	1,269	+18.5%
5月	1,179	1,105	-6.3%
6月	1,320	1,301	-1.4%
7月	1,439	1,554	+8.0%
8月	1,330	859	-35.4%
9月	1,095	2,515	+129.7%
10月	3,870	1,026	-73.5%
11月	6,216	1,251	-79.9%
12月	3,514	2,397	-31.8%
年間合計	27,821	21,444	-22.9%

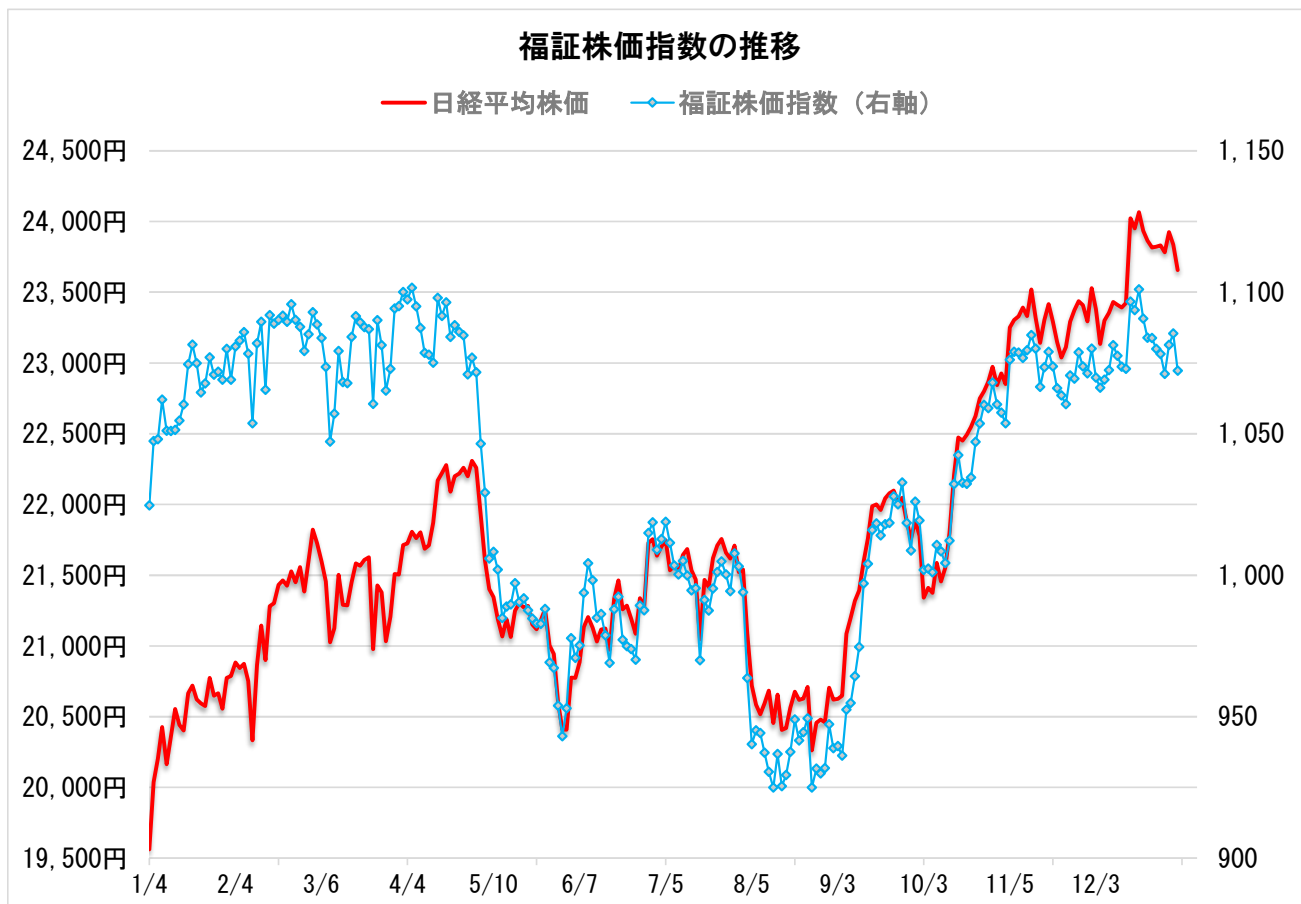


#### ④直近の年間売買高・売買代金推移

年数	売買高（千株）			売買代金（百万円）			立会日数
	市場合計	本則	Q-Board	市場合計	本則	Q-Board	
2016年	32,546	30,119	2,428	17,209	15,945	1,264	245
2017年	31,988	26,278	5,710	21,511	17,538	3,973	247
2018年	23,780	12,825	10,955	27,821	15,663	12,158	245
2019年	18,961	10,105	8,856	21,444	11,179	10,265	241



### 3. 株価指数



①各指数の四本値 (日々の終値)

※単位；福証株価指数：ポイント

	始値	高値	(高値日)	安値	(安値日)	終値
福証株価指数	1,024.69	1,101.56	04月05日	924.91	08月26日	1,072.22
日経平均	19,561.96	24,066.12	12月17日	19,561.96	01月04日	23,656.62

②福証株価指数の年末時点の推移

年末時点	終値
2015年	968.14
2016年	977.17
2017年	1,361.17
2018年	1,042.51
2019年	1,072.22

(注) 福証株価指数は、福証に上場している企業のうち、九州・山口に本社又は事業所を有する企業84銘柄で構成しており、1968年(昭和43年)1月4日(終値)を基準とし、その時点の時価総額を100としている。

前年末比  
+29.71

#### 4. 上場銘柄の状況

##### ①上場銘柄数

		2018年12月末	2019年12月末	増減数
上場会社数		110 社	111 社	1 社
上場銘柄数	株券	110銘柄	111銘柄	1 銘柄
	受益証券	1 銘柄	1 銘柄	0 銘柄
	不動産投信	1 銘柄	1 銘柄	0 銘柄
うち単独上場会社数		26 社	26 社	0 社
(本則市場の単独上場会社数)		20 社	21 社	1 社
(Q-Boardの単独上場会社数)		6 社	5 社	-1 社

##### ②異動状況

		2018年	2019年
株券	新規上場	3 銘柄	2銘柄
	上場廃止	5 銘柄	1銘柄

#### 2019年 上場銘柄異動状況

異動日	項目	銘柄名	異動理由	会社数
2018年末時点				110
03月27日	上場廃止	㈱十八銀行	株式交換による完全子会社化	109
06月04日	新規上場	大英産業㈱	本則市場に新規上場	110
06月18日	重複上場	㈱LibWork	東証に重複上場	110
07月16日	重複上場 市場変更	日創プロニティ㈱	東証に重複上場 Q-Boardから本則市場に変更	110
09月12日	新規上場	㈱ピー・ビーシステムズ	Q-Boardに新規上場	111

## 5. 本所の主な出来事

04月01日	<p><b>「中期経営方針」(2019~2021年度)初年度の開始</b></p> <p>I. 安心で利便性の高い取引環境の整備、II. 福証上場企業及び株式上場志向企業に対する貢献、III. 経営基盤の拡充の3本を柱に、地域取引所としての存在感を高めていく。</p>
06月04日	<p><b>大英産業㈱が本則市場へ上場</b></p> <p>[概要]          本社は福岡県北九州市。主に新築マンションの分譲を中心としたマンション事業及び新築一戸建ての分譲を中心とした住宅事業を展開している。</p>
06月07日	<p><b>福岡証券取引所設立70周年</b></p> <p>1949年(昭和24年)6月7日に福岡証券取引所を設立。同年7月4日に売買を開始し、本年2019年(令和元年)に70周年を迎えた。</p>
06月25日 ～	<p><b>九州IPO挑戦隊 第12期生入会</b></p> <p>九州中小ベンチャー企業IPO支援プロジェクト(通称QSP)が運営する「九州IPO挑戦隊」に第12期生5社が入会した。入会企業は挑戦隊独自のサポートメニュー「IPOチャレンジアカデミー」を受講するなど、上場の早期実現に向けたプログラムに取り組む。</p>
07月25日	<p><b>福岡証券取引所設立70周年記念企業交流会の開催</b></p> <p>福岡市内にて、関係行政機関、会員証券会社、福証上場企業、上場を目指す企業、監査法人、ベンチャーキャピタル等の広範な関係者を多数お招きし、第8回目および設立70周年記念となる「福岡証券取引所 企業交流会」を開催。当日は250名を超える方が来場。</p>
09月12日	<p><b>㈱ピー・ビーシステムズがQ-Board市場へ上場</b></p> <p>[概要]          本社は福岡県福岡市。主に企業の基幹システムをクラウド化する「セキュアクラウド事業」、VRシアター4D王の製造販売を行う「エモーショナルシステム事業」を展開している。</p>
09月26日	<p><b>「株式上場に向けた成長支援に関する協力協定」を新規に締結(合わせて19地域銀行)</b></p> <p>本所と各銀行が相互に連携・協力することにより、地域企業の株式上場に向けた成長支援を効果的に進めるために、2017年11月20日の12行、2018年4月24日の6行との協力協定に続き、新たに同様の協力協定を㈱琉球銀行と締結。</p>
09月28日	<p><b>「親子経済教室&amp;ボードゲーム大会 in 福岡」を開催</b></p> <p>福岡証券取引所・東京証券取引所共催による「親子経済教室&amp;ボードゲーム大会 in 福岡」を開催。私たちの暮らしと社会や経済とのかかわりを経済教室で親子で一緒に学習し、様々な経済ニュースにより株価がどのように動くかゲーム形式で学んだ。</p>
10月01日	<p><b>「IR NAVI福証 Vol.20 (2019-2020)」発刊</b></p> <p>2000年より毎年発行している福証単独上場会社を紹介した「IR NAVI福証」の最新号を発刊。ウェブサイトでは、単独上場企業の株主優待情報や株価情報のほか、初心者向け株式情報を紹介。[ウェブサイト <a href="http://fse.irnavi.minkabu.jp/">http://fse.irnavi.minkabu.jp/</a>]</p>
12月13日 など	<p><b>地域銀行との協力協定に基づくセミナー等の開催</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・㈱沖縄銀行と共催でスタートアップをはじめとする沖縄県内事業会社、支援機関等関係者を対象に「株式公開(IPO)セミナー」を開催。(12/13開催)</li> <li>・他に豊和銀行(2/28)、福岡銀行(3/15)、大分銀行(3/23)、佐賀銀行(8/9・9/18)の行員を対象にIPO勉強会を開催。</li> </ul>

## 福証IRフェアの開催

福証IRフェアは、上場会社の企業情報発信の促進を通じ、投資家に対する企業情報提供を充実することを目的に、2006年から継続して開催している。今年は計10回開催し、参加企業は延べ30社、来場者数は延べ1,600名を超えた。

12月18日の第101回は福証単独上場会社の会20周年・福岡証券取引所設立70周年を記念し、福証単独上場会社4社が会社説明を行い、福証の取り組み等についても紹介した。

開催日	参加企業	来場者数
第92回 02月27日	日本乾溜工業(株)/大石産業(株)/WASHハウス(株)	177名
第93回 03月15日	FIG(株)/小野建(株)/トラストホールディングス(株)	146名
第94回 04月22日	(株)東武住販/(株)エムビーエス	144名
第95回 06月10日	(株)九電工/福岡リート投資法人/大和証券(株) (セミナー)	168名
第96回 08月29日	ポート(株)/イフジ産業(株)/(株)富士ピー・エス	165名
第97回 09月03日	OCHIホールディングス(株)/ロイヤルホールディングス(株)/(株)エムビーエス	168名
第98回 09月30日	昭和鉄工(株)/(株)コーセーアールイー/トラストホールディングス(株)	153名
第99回 11月07日	(株)プラッツ/小野建(株)/(株)Lib Work	156名
第100回 12月09日	(株)テノ.ホールディングス/(株)九電工/コカ・コーラボトラーズジャパンホールディングス(株)	180名
第101回 12月18日	大英産業(株)/(株)ヒガシマル/メディアファイブ(株)/(株)ピー・ビーシステムズ ※『福証単独上場会社の会20周年・福岡証券取引所設立70周年記念』IRフェア	171名